



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 太陽誘電株式会社
コード番号 6976 URL <http://www.tv-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 綿貫 英治

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 横田 年昭

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日

TEL 03-3832-0101

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	105,550	10.6	7,196	393.9	7,439	—	4,260	—
25年3月期第2四半期	95,442	△1.7	1,457	—	138	—	△625	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,531百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △4,228百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	36.21	36.15
25年3月期第2四半期	△5.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	234,999	122,829	52.2	1,041.55
25年3月期	225,945	115,826	51.1	982.02

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 122,640百万円 25年3月期 115,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	8.9	14,000	188.6	14,000	96.7	9,000	382.0	76.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年11月11日)公表いたしました「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 対前期増減率は会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を遡及適用後の数値です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2に該当するものとなります。詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	120,481,395 株	25年3月期	120,481,395 株
26年3月期2Q	2,732,482 株	25年3月期	2,855,179 株
26年3月期2Q	117,678,563 株	25年3月期2Q	117,603,571 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	9
(1) 製品別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済の一部に緩慢な動きがみられるものの、全体としては徐々に持ち直しに向かっているという状況で推移いたしました。また、先行きについては、世界経済が次第に回復していくことが考えられますが、引き続き不確実性は高い状況にあります。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においては、パソコンやテレビなどの市場が引き続き低迷しているものの、スマートフォンやタブレット端末市場が拡大するとともに、自動車の電装化が進展していることにより、電子部品の需要は堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、平成27年3月期を最終年度とする中期経営計画で掲げた目標の達成に向けて収益改善策を実施しております。スマートフォンやタブレット端末といった成長機器へ向けて、コンデンサやインダクタ、モバイル通信用デバイス(SAW/FBAR)などのスーパーハイエンド商品の販売拡大を図ってまいりました。また、自動車電装や産業機器など成長が期待できる市場に向けた取り組みに注力しており、その一環として高信頼性商品のラインアップを拡充いたしました。

事業セグメント別では、電子部品事業において需要の拡大が続くスマートフォン市場に向け、0402サイズ及び0603サイズの超小型積層セラミックコンデンサ、超低背積層セラミックコンデンサ、静電容量330 μ Fなどの小型大容量積層セラミックコンデンサ、新開発の金属系磁性材料を使用したメタル系パワーインダクタ「MCOIL™(エムコイル)」、高周波積層High-Qチップインダクタや超小型積層チップインダクタ、モバイル通信用デバイス(SAW/FBAR)などのスーパーハイエンド商品を中心に生産体制を強化し、販売拡大に努めてまいりました。記録製品その他事業においては事業構造改革を進め、記録製品の収益改善に向けた取り組みを継続しております。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,055億50百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益は71億96百万円(前年同期比393.9%増)、経常利益は74億39百万円(前年同期は経常利益1億38百万円)、四半期純利益は42億60百万円(前年同期は四半期純損失6億25百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル98.12円と前年同期の平均為替レートである1米ドル80.14円と比べ17.98円の円安となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

<電子部品>

[コンデンサ]

積層セラミックコンデンサが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、すべての機器向けの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は520億65百万円(前年同期比25.2%増)となりました。

[フェライト及び応用製品]

積層、巻線等の各種インダクタが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、民生機器向けの売上が前年同期比で減少したものの、情報機器向け、通信機器向け、自動車・産業機器向けの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は177億48百万円(前年同期比24.9%増)となりました。

[複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(SAW/FBAR)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板などが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(SAW/FBAR)、電源モジュールの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は220億71百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

[その他電子部品]

エネルギーデバイスなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は28億38百万円(前年同期比25.6%増)となりました。

<記録製品その他>

[記録製品]

CD-R、DVD-R/DVD+R、BD-Rが含まれます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は67億86百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

[その他]

主なものは関係会社における実装事業で、当第2四半期連結累計期間の売上高は40億39百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して90億54百万円増加しました。そのうち流動資産は121億7百万円増加しており、主な要因は、現金及び預金の増加75億13百万円、受取手形及び売掛金の増加14億47百万円、商品及び製品の増加3億25百万円、仕掛品の増加12億67百万円、原材料及び貯蔵品の増加7億74百万円であります。また固定資産は30億52百万円減少しており、主な要因は、有形固定資産の減少29億5百万円であります。

負債は20億51百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加12億15百万円であります。

純資産は、70億3百万円増加しました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは146億11百万円の収入(前年同期比106.9%増)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益57億66百万円、減価償却費99億21百万円、たな卸資産の増加額16億48百万円でありま

す。投資活動によるキャッシュ・フローは100億94百万円の支出(前年同期比8.4%減)となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出98億56百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは13億79百万円の収入(前年同期比79.6%減)となりました。主な要因は、長期借入れによる収入50億円、長期借入金の返済による支出25億35百万円、配当金の支払額5億86百万円でありま

す。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対し69億45百万円増加し、402億25百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成25年5月14日に公表しました通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成25年11月11日）公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更）

IAS第19号「従業員給付」（平成23年6月16日改訂）が、平成25年1月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、一部の在外子会社において当該会計基準を適用し、数理計算上の差異、過去勤務費用及び確定給付負債の純額に係る利息純額等の認識方法の変更等を行っております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前第2四半期連結累計期間における当該遡及適用による影響は軽微であります。また、前連結会計年度の期首の純資産に与える累積的影響額は軽微であるものの、利益剰余金の前期末残高は134百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,356	42,870
受取手形及び売掛金	41,655	43,102
商品及び製品	15,023	15,348
仕掛品	11,086	12,353
原材料及び貯蔵品	9,832	10,607
その他	4,649	5,467
貸倒引当金	△271	△311
流動資産合計	117,332	129,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,214	68,962
機械装置及び運搬具	212,367	215,044
工具、器具及び備品	19,262	19,604
土地	7,689	7,693
建設仮勘定	9,357	8,250
減価償却累計額	△218,116	△223,686
有形固定資産合計	98,774	95,869
無形固定資産		
のれん	1,201	900
その他	824	807
無形固定資産合計	2,025	1,708
投資その他の資産		
投資有価証券	4,360	4,741
その他	3,733	3,550
貸倒引当金	△282	△310
投資その他の資産合計	7,812	7,982
固定資産合計	108,612	105,560
資産合計	225,945	234,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,950	19,165
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	365
短期借入金	20,242	20,200
1年内返済予定の長期借入金	4,899	14,223
未払法人税等	1,049	1,639
賞与引当金	2,981	3,159
役員賞与引当金	75	59
その他	17,246	14,620
流動負債合計	64,443	73,434
固定負債		
社債	8,000	8,000
転換社債型新株予約権付社債	365	—
長期借入金	29,364	22,504
退職給付引当金	1,416	1,624
役員退職慰労引当金	125	109
負ののれん	10	—
その他	6,393	6,497
固定負債合計	45,674	38,735
負債合計	110,118	112,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,557	23,557
資本剰余金	41,484	41,495
利益剰余金	67,803	71,476
自己株式	△3,564	△3,411
株主資本合計	129,280	133,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	562	924
繰延ヘッジ損益	14	43
為替換算調整勘定	△14,346	△11,444
その他の包括利益累計額合計	△13,769	△10,476
新株予約権	274	170
少数株主持分	40	18
純資産合計	115,826	122,829
負債純資産合計	225,945	234,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	95,442	105,550
売上原価	77,807	80,296
売上総利益	17,635	25,253
販売費及び一般管理費	16,178	18,057
営業利益	1,457	7,196
営業外収益		
受取利息	80	129
受取配当金	63	55
為替差益	—	558
持分法による投資利益	24	—
助成金収入	23	32
その他	100	107
営業外収益合計	292	883
営業外費用		
支払利息	274	267
社債利息	36	36
為替差損	1,104	—
持分法による投資損失	—	3
休止固定資産減価償却費	140	239
その他	54	92
営業外費用合計	1,611	640
経常利益	138	7,439
特別利益		
固定資産売却益	8	19
その他	0	—
特別利益合計	8	19
特別損失		
固定資産除売却損	77	106
減損損失	150	548
投資有価証券評価損	427	129
事業構造改善費用	272	862
その他	10	45
特別損失合計	938	1,692
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△792	5,766
法人税、住民税及び事業税	373	1,431
法人税等調整額	△529	96
法人税等合計	△156	1,528
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△635	4,238
少数株主損失(△)	△9	△22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△625	4,260

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△635	4,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	362
繰延ヘッジ損益	13	28
為替換算調整勘定	△3,099	2,901
その他の包括利益合計	△3,592	3,293
四半期包括利益	△4,228	7,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,217	7,553
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△792	5,766
減価償却費	9,300	9,921
減損損失	150	548
事業構造改善費用	272	862
のれん償却額	300	300
負ののれん償却額	△10	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	55
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,216	179
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	△17
受取利息及び受取配当金	△144	△185
支払利息	274	267
社債利息	36	36
持分法による投資損益(△は益)	△24	3
固定資産除売却損益(△は益)	69	86
投資有価証券評価損益(△は益)	427	129
売上債権の増減額(△は増加)	△651	298
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,920	△1,648
仕入債務の増減額(△は減少)	5,031	△96
その他	△1,496	△1,105
小計	11,023	15,377
利息及び配当金の受取額	204	178
利息の支払額	△242	△291
事業構造改善費用の支払額	△3,293	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△629	△651
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,063	14,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△308	△451
固定資産の取得による支出	△11,202	△9,856
固定資産の売却による収入	16	148
投資有価証券の売却による収入	10	25
その他	463	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,021	△10,094
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	14,651	△166
長期借入れによる収入	14,652	5,000
長期借入金の返済による支出	△2,212	△2,535
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	△19,635	—
自己株式の取得による支出	△5	△1
配当金の支払額	△296	△586
リース債務の返済による支出	△384	△330
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,770	1,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	△828	1,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,983	6,945
現金及び現金同等物の期首残高	26,671	33,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,655	40,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率(%)
コンデンサ	41,570	43.5	52,065	49.3	10,495	25.2
フェライト及び応用製品	14,212	14.9	17,748	16.8	3,535	24.9
複合デバイス	26,808	28.1	22,071	20.9	△4,737	△17.7
その他電子部品	2,260	2.4	2,838	2.7	578	25.6
電子部品 計	84,851	88.9	94,723	89.7	9,872	11.6
記録製品	7,295	7.6	6,786	6.5	△508	△7.0
その他	3,296	3.5	4,039	3.8	743	22.6
記録製品その他 計	10,591	11.1	10,826	10.3	234	2.2
合計	95,442	100.0	105,550	100.0	10,107	10.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

上場会社名 : 太陽誘電株式会社
 コード番号 : 6976 (東証 第一部)
 代表者 : 代表取締役社長 綿貫 英治
 問合せ窓口 : 経営企画本部 財務経理部
 TEL (03 - 3832 - 0101)

平成26年3月期 第2四半期決算概要

(百万円未満切捨て)

[業績の概要]

科目	期 別		前第2四半期 (24.4.1~24.9.30)		当第2四半期 (25.4.1~25.9.30)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
売上高	95,442	100.0	105,550	100.0	10,107		10.6	
営業利益	1,457	1.5	7,196	6.8	5,739		393.9	
経常利益	138	0.1	7,439	7.0	7,301		-	
税引前当期純利益	△792	△0.8	5,766	5.5	6,558		-	
当期純利益	△625	△0.7	4,260	4.0	4,886		-	
包括利益	△4,228	-	7,531	-	11,759		-	

1株当たり当期純利益	△5.32 円	36.21 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	— 円	36.15 円

研究開発費	3,293 百万円	3,554 百万円	261百万円	7.9%
設備投資額	12,073 百万円	7,699 百万円	△4,373百万円	△36.2%
減価償却費	9,300 百万円	9,921 百万円	620百万円	6.7%

(注) 1 百分比は売上高比であります。

2 前第2四半期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

科目	前連結会計年度末 (25.3.31)		当第2四半期 (25.9.30)		増減	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
総資産	225,945 百万円	4.0	234,999 百万円	9,054百万円	4.0	
純資産	115,826 百万円	6.0	122,829 百万円	7,003百万円	6.0	
自己資本比率	51.1 %	—	52.2 %	1.1ポイント	—	
1株当たり純資産	982.02 円	6.1	1,041.55 円	59.53円	6.1	

[製品別売上高]

製品区分	前第2四半期 (24.4.1~24.9.30)		当第2四半期 (25.4.1~25.9.30)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
コンデンサ	41,570	43.5	52,065	49.3	10,495	25.2
フェライト及び応用製品	14,212	14.9	17,748	16.8	3,535	24.9
複合デバイス	26,808	28.1	22,071	20.9	△4,737	△17.7
その他電子部品	2,260	2.4	2,838	2.7	578	25.6
電子部品 計	84,851	88.9	94,723	89.7	9,872	11.6
記録製品	7,295	7.6	6,786	6.5	△508	△7.0
その他	3,296	3.5	4,039	3.8	743	22.6
記録製品その他 計	10,591	11.1	10,826	10.3	234	2.2
合計	95,442	100.0	105,550	100.0	10,107	10.6